

教委だより

No.431



令和3年3月22日

編集発行 富山県教育委員会
発行人 教育企画課長

令和2年度

富山高校・高岡高校・富山中部高校 探究科学科

三校合同課題研究発表会



▲「食虫植物 ～市販品にバエ返した～」(富山高校)

▲「柔よく剛を制す ～パスタブリッジの強さに挑む～」(高岡高校)

富山、高岡、富山中部高校の探究科学科による「三校合同課題研究発表会」が12月20日(日)に富山国際会議場で開催されました。今年度は、新型コロナウイルス感染症対策のため来場者を制限しての開催となりましたが、ステージでの代表発表、研究班ごとのポスターセッションでは研究成果が披露され、活発な質疑応答が繰り広げられました。

研究テーマは、馴染みのある遊びを科学的に分析した「ジェンガ必勝法」、「真夏の方程式～コロナ対策の成功を導く～」などのコロナ禍で生まれた課題への取り組み、「時をかける女子制服～制服の変遷と女の力～」といった身近な視点から社会問題を考察したものなど多岐にわたり、どれも休校による活動時間の短縮を感じさせない充実した取り組みとなっていました。



▲「# BLACK LIVES MATTER」(富山中部高校)

Contents (主な内容)

- 三校合同課題研究発表会 1p
- 全国中学校相撲選手権大会 2p
- 全国高等学校選抜大会(ホッケー競技) 2p
- 富山マラソン2021エントリー 2p
- 健康教育実践優良学校 3p
- 学校給食優良学校等 3p
- 「英語学習パートナー」派遣事業 4p
- 「ふるさととやまの自然・科学ポイントラリー」認定書交付 4p
- とやま学校多忙化解消推進委員会 4p
- 中学校・高等学校卒業者の進路状況調査結果 5p
- 「かたろう富山の農業ゆめ・みらい」作文コンクール 5p
- 富山県教育委員会重点施策の体系 6・7p
- 総合教育センターNOW 8・9p
- インフォメーション 10p
 - 埋蔵文化財センター企画展「見て、知って!とやまヒストリー2021」
 - 県民カレッジ ～自遊塾～
 - 放送大学 教員免許更新講習
- 特別展「BONE(骨)ー貝塚で知る生命の証ー 10p
- はつらつ公民館学び支援事業 10p
- 学校レポート(富山県立小杉高等学校) 11p
- 高校生ものづくりマイスター 12p
- リレーエッセイ(富山県高等学校長協会長) 12p

富山県内初の中学生横綱誕生

令和3年1月1日、東京都立川市で全国中学校相撲選手権大会が開催されました。各都道府県の予選を勝ち抜いた選手が出場し、トーナメント方式で個人戦が行われました。富山県から出場した五十嵐翔選手（高岡市立南星中）が他を圧倒する激しい突き押し相撲を貫いて勝ち進み、見事優勝を果たし、県勢で初となる中学横綱に輝きました。

中学横綱に輝いた五十嵐選手は、大会後に「コロナ禍の影響で、これまでとは全く異なる大会の雰囲気緊張しました。しかし、1回戦から満足のいく押し相撲を發揮することができ、緊張を克服することができました。今回このような結果を残すことができたのは、日頃から指導して下さる先生方や高岡向陵高校の先輩方、チームメイトのおかげだと思います。本当に多くの方々の支えがあり、優勝することができました。ありがとうございました。これからも精進し続け、高校横綱を目指します。」と感謝の言葉と今後の目標を語りました。



「中学横綱」に輝いた五十嵐選手

写真提供：高岡市立南星中学校 中村 昌寛 教諭（監督）

コロナ禍を乗り越えて

富山県立石動高等学校 男子ホッケー部監督 坪内 一浩 女子ホッケー部監督 西永 毅

今年度は、新型コロナウイルスの影響で、全国高等学校総合体育大会、国体が中止となり、令和2年12月23日（水）～27日（日）に岐阜県川崎重工ホッケースタジアムで開催された全国高等学校選抜大会が最初で最後の全国大会となりました。

全国大会が行われることを信じて努力を続けてきた選手たちは、選抜大会が開催されたことへの感謝を胸に、これまで培ってきたチーム力と技術力を十分に発揮してくれました。その結果、選抜大会での本校男女決勝進出は21年ぶりの快挙となりました。決勝では敗れてしまいましたが、全国の舞台で男女準優勝を果たすことができました。

令和3年度は、地元富山県で全国高校総体ホッケー競技が開催されますので、総体での飛躍に繋げていきたいと思っています。



「富山マラソン2021」について

問合せ先 富山マラソン実行委員会事務局 TEL 076-444-4102

開催日：令和3年11月7日（日）

※詳細は、公式HPをご覧ください

富山マラソン

検索

皆さまのエントリーをお待ちしております！

種目	マラソン (42.195km)	車いす (9km)	ジョギングの部(約4km)
定員	10,000人	30人	1,000人
エントリー開始日	・6月5日(土)正午～(県民先行枠、ふるさと納税枠 他) ・6月12日(土)正午～(一般枠 他)	6月12日(土)正午～	

健康教育実践優良学校の取組

令和2年度健康教育実践優良学校の総合・近視予防・歯と口の健康の3部門に10校が選ばれました。

	総合の部門	近視予防の部門	歯と口の健康の部門
優良校	射水市立金山小学校	砺波市立庄川小学校	砺波市立砺波東部小学校
準優良校	富山市立奥田北小学校	入善町立黒東小学校	入善町立ひばり野小学校
努力校	魚津市立星の杜小学校 富山市立上滝小学校 射水市立放生津小学校		入善町立桃李小学校

ここでは、優良校の取組を紹介します。

「総合の部門」(いきいき富山っ子賞) 優良校「射水市立金山小学校」

「とやまゲンキッズ作戦」等で実態をつかみ、健康教育活動に取り組んでいます。学習後の各自の取組が継続するよう目当てを見直す機会を取り入れました。児童保健体育委員会が中心となって、運動の大切さをテーマにした児童集会を開催したり、休み時間に「ゴールデンスポーツタイム」を実施したりしたことで、運動に取り組む児童が増えました。



◀全校での「バナナ鬼」(R1・7)

「近視予防の部門」優良校「砺波市立庄川小学校」

学習参観に6年生の児童と保護者を対象に外部講師の講演を含む「長時間メディアの影響と対応」の学習を実施し、家族の意識も高めました。またアウトメディアについて、児童保健委員会による劇を集会で発表したり、PTA保健委員会「親子で取り組む強調週間」を中学校と同時期に年間3回実施したりと、学校、家庭、地域が連携した取組をしています。



◀アウトメディア講演会(R1・6)

「歯と口の健康の部門」優良校「砺波市立砺波東部小学校」

児童保健委員が、歯ブラシの動かし方等をクイズ形式にして集会で発表したり、歯科衛生士から歯肉炎の話聞く機会を設けたりすることで、具体的な歯みがきの方法を知らせました。また、歯科検診を年間2回実施し、2年生と6年生でむし歯・歯肉炎予防教室を行ったり、家庭に夜の歯みがきの大切さを呼びかけ、5回の実態調査を行ったりしています。



▲東部さんの歯を守ろう(R1・11)



学校給食優良学校の取組

令和2年度学校給食優良学校等が選ばれました。

学校給食優良学校等	立山町学校給食センター 南砺市立福野小学校
学校給食功労団体	富山魚商業協同組合
学校給食功労者	岩林 良子(富山県立富山聴覚総合支援学校 学校栄養職員) 伊藤 静加(富山市立西田地方小学校 調理員) 荒井 明子(富山市立山田小学校 調理員)

ここでは、優良学校の取組を紹介します。

学校給食優良学校等「立山町学校給食センター」

地場産食材を積極的に使用し、児童生徒が生産農家との交流や連携を深める場を設けることで、新鮮で美味しく安全な食材と、地域資源の魅力を再確認する機会を提供しています。また、地域の伝統料理を献立に取り入れたり、食の伝承人から受け継がれてきた歴史等を直接聞く場を設定したりして、児童生徒の地域への愛着を深めました。



◀食の伝承人とのふれあい

学校給食優良学校等「南砺市立福野小学校」

目標を「家族・地域の人と関わりながら、食を通して健康づくりに努める子供の育成」とし、担任や栄養教諭による食に関する指導を計画的・系統的に実施しました。マナーを守って楽しい食事ができるように、食育だより等で保護者の意識を高めたり、和食作法会食や委員会の工夫を生かした活動を取り入れたりして、魅力ある学校給食を目指しています。



◀和食作法会食(R1・10)



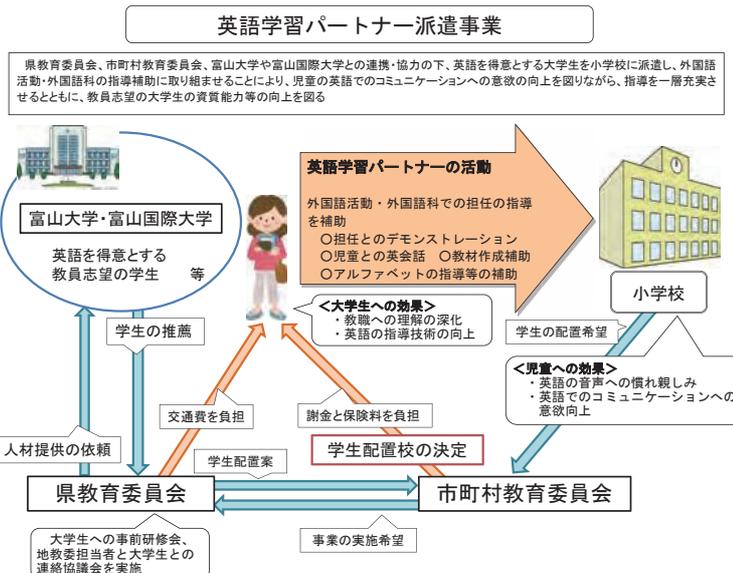
「英語学習パートナー」派遣事業

小学校では、今年度から新学習指導要領が全面実施となり、5、6年生で外国語科、3、4年生で外国語活動の授業が行われています。県教育委員会では、小学校の外国語活動や外国語科の授業を支援するため「英語学習パートナー派遣事業」を実施しています。本事業は、英語が得意で、教員志望の大学生を小学校に派遣し、外国語活動・外国語科の授業の指導補助に取り組んでいただき、指導を一層充実させるものです。

今年度は、2学期から、富山大学、富山国際大学の学生21人を県内の小学校17校に派遣しており、学生たちは、専科教員や担任、ALTとデモンストレーションを行ったり、児童と英語でコミュニケーションをしたりしています。

児童からは「困った時に聞きやすい」「話す言葉に詰まったときに優しく教えてくれてうれしい」と好評で、「お姉ちゃん先生のように話せるようになりたい」と、身近なよい目標となっています。また、先生方からは、「英語が苦手な児童が話すのを後押ししてくれる」「児童に近い存在であり、困っているとき笑顔で助けてくれるので、安心につながっている」との声が聞かれます。さらに、「デモンストレーションの練習をしたりするなど、子供たちのよいモデルになろうとしている」「授業の前に準備等、できることを見付けて補助してくれる」と、将来教員を目指す学生の努力を評価する声も聞かれます。

本事業を通して、外国語教育の充実を図り、児童の英語への興味・関心やコミュニケーション意欲の向上につなげていきたいと考えています。



「ふるさととやまの自然・科学ポイントラリー」認定証交付

富山の自然等を通して探究する態度や科学する心を育てるために、副読本「ふるさととやまの自然・科学ものがたり」に掲載されている自然や施設の見学、観察・実験を1回行くと1ポイントとなるポイントラリーを実施しています。今年度は、20ポイントに達した5年生8名、6年生13名、計21名に認定証を交付します。先生方には、子供たちの自然や科学に対する興味・関心の高揚にご協力いただき、ありがとうございました。

来年度もポイントラリーを行う予定としています。今年度の5年生が獲得したポイントは来年度も有効ですので、子供たちが意欲的に取り組んでくれることを期待しています。

とやま学校多忙化解消推進委員会

昨年度設置しました、とやま学校多忙化解消推進委員会を開催しました。同委員会は、学校現場の多忙化を解消し、教員の働き方改革を推進するため、富山県公立学校の教職員の在校等時間の状況を踏まえ「富山県公立学校における業務改善推進に向けた取組」に係る具体的な取組の効果や、今後求められる取組等について、幅広く各方面の関係者から基本的な考え方を議論することを目的としています。

委員長に高木繁雄氏（県商工会議所連合会長）、副委員長に大坪史尚氏（富山大学教職大学院教授）をお迎えしたほか、経済界、法曹界、PTA、校長会、市町村教育委員会、職員団体からの計14名の委員で構成し、第1回会議を12月3日（木）、第2回会議を2月25日（木）に開催したところです。

会議では各委員より、教職員の時間外勤務の状況や業務改善の取組状況のほか、今後必要な取組として、外部人材の活用や部活動の改革の必要性、新型コロナウイルスで縮小・廃止となった学校行事の見直し等の具体的な意見が述べられました。

今後は、会議で議論された内容を踏まえて、教育委員会と学校が行うべき多忙化解消の取組をとりまとめ、その取組を具体的に実施することで、教職員の時間外勤務時間の削減を目指します。



中学校・高等学校卒業者の進路状況調査結果 — 令和2年5月1日現在 —

〈表1〉 中学校卒業者の進路状況

各年3月	実数(人)						割合(%)		
	a 卒業生	b 高等学校等進学者	c 専修学校等進学者	d 就職者	e その他	f (再掲) b,cのうち就職者	b/a 高等学校等進学率	c/a 専修学校等進学率	(d+f)/a 就職率
28	10,095	9,995	5	24	71	3	99.0	0.0	0.3
29	10,111	10,038	3	15	55	2	99.3	0.0	0.2
30	9,656	9,594	0	12	50	4	99.4	0.0	0.2
31	9,552	9,472	4	14	62	2	99.2	0.0	0.2
R2	9,304	9,240	3	12	49	1	99.3	0.0	0.1

〈表2〉 高等学校等進学者の進路先状況

区分	進学者総数	高等学校			高等専門学校	特別支援学校高等部
		全日制	定時制	通信制		
実数(人)	9,240	8,530	287	125	240	58
割合(%)	99.3 (99.2)	91.7 (91.6)	3.1 (3.1)	1.3 (1.1)	2.6 (2.6)	0.6 (0.9)

(注) ()内は、前年度調査結果の数値である。

〈表3〉 高等学校卒業者の進路状況

各年3月	実数(人)						割合(%)				
	a 卒業生	b 大学等進学者	c 専修学校等進学者	d 就職者	左記以外の者		f (再掲) 左記b,cのうち就職者	b/a 大学等進学率	c/a 専修学校等進学率	(d+f)/a 就職率	(b+c+d+e)/a 進学と就職の割合
					e 無認可の予備校・私塾等	その他					
28	9,161	4,762	2,156	2,083	—	160	9	52.0	23.5	22.8	98.3
29	9,115	4,760	2,190	2,027	—	138	7	52.2	24.0	22.3	98.5
30	9,195	4,770	2,038	2,014	235	138	3	51.9	22.2	21.9	98.5
31	9,142	4,819	1,928	1,942	294	159	8	52.7	21.1	21.3	98.3
R2	9,192	5,087	1,775	1,954	195	181	1	55.3	19.3	21.3	98.0

(注) 無認可の予備校・私塾等に進学した者は、H29まで「専修学校等進学者・入学者」に含めて計上していたが、H30に変更となった学校基本調査に合わせて「左記以外の者」に計上している。

1 中学校

令和2年3月に県内の中学校（国立1校、公立79校1分校、私立1校）を卒業した生徒は9,304人（男子4,728人、女子4,576人）で、前年より248人減少しました。〈表1〉高等学校等進学率については、99.3%（前年99.2%）で、全国第6位（前年第8位）となっています。〈表1・表2〉就職率は0.1%（前年0.2%）でした。〈表1〉

2 高等学校

令和2年3月に県内の高等学校（公立41校2分校、私立10校）を卒業した生徒は9,192人（男子4,642人、女子4,550人）で、前年度より50人増加しました。〈表3〉大学等進学率は55.3%（前年52.7%）で、全国第16位（前年第17位）となっています。〈表3・表4〉就職率は21.3%（前年同率）でした。〈表3〉なお、県内就職割合は94.3%（前年95.3%）で全国第2位（前年第2位）となっています。卒業者に占める進学者と就職者の合計の割合は98.0%（前年98.3%）となっています。〈表3〉

〈表4〉 大学等進学者の学校種別・設置者別進学状況

区分	大学等進学者総数	大学			短期大学			その他	
		計	国立	公立	私立	計	公立		私立
実数(人)	5,087	4,351	1,219	524	2,608	667	20	647	69
割合(%)	55.3 (52.7)	47.3 (44.3)	13.3 (12.0)	5.7 (5.1)	28.4 (27.2)	7.3 (7.6)	0.2 (0.4)	7.0 (7.3)	0.8 (0.8)

(注) 端数処理のため、各進学率を合計しても大学等進学者の進学率と一致しない場合がある。「その他」は、大学・短期大学通信教育部、高等学校専攻科及び特別支援学校高等部専攻科等である。()内は、前年度調査結果の数値である。

※詳しくは、県立学校課のHPをご覧ください。(http://www.pref.toyama.jp/cms_sec/3003/index.html)

「かたろう富山の農業・ゆめ・みらい」作文コンクール表彰式

県農業教育振興会主催、第19回「かたろう富山の農業・ゆめ・みらい」作文コンクールの表彰式が2月19日(金)、富山県農協会館で行われ11名の生徒が表彰されました。中学校、高校あわせて114編の応募があり、富山県知事賞には射水市立新湊中学校の笹谷帆香さんの「支えていくのは私たち」が、富山県教育委員会教育長賞には高岡市立志貴野中学校の岩下彩愛さんの「富山県農業の未来の姿」、氷見高校の小泉椋平さんの「一次産業の活路」が選ばれました。当日は受賞者を代表して笹谷さんが、農業の人手不足問題解消に向けて、富山米を食べてそのおいしさを実感してもらうこと、農業体験をとおして収穫の喜びを実感してもらうこと、育てた農産物で人を幸せにできる農業の魅力を知ってもらうことが重要だと発表しました。



令和3年度 富山県教育委員会重点施策の体系

1 学校、家庭、地域で取り組む 子どもの成長支援

〔子どもの健全な育成と地域の教育力の充実〕	
・土曜日の豊かな教育活動推進事業	(12,050)
・はつらつ公民館学び支援事業	(2,000)
・放課後子ども教室推進事業	(28,278)
〔家庭の教育力の向上〕	
・とやま親学び推進事業	(3,365)
・家庭教育総合相談事業	(5,412)
〔児童等の安全の確保〕	
・学校安全教育推進事業	(424)

2 子どもの可能性を引き出し、 才能や個性を伸ばす教育の推進

〔確かな学力の育成〕	
・とやま型学力向上総合支援事業	(19,027)
〔ICTを活用した教育の推進〕	
新 G I G A スクール構想推進事業	(6,500)
新 教育環境のデジタル化推進事業	(3,350)
・ICT教育推進事業	(90,868)
〔社会で生きる実践的な力の育成〕	
新 県立学校プロジェクト学習推進事業	(12,000)
拡 キャリア教育アドバイザーの配置	(9,026)
拡 社会に羽ばたく「17歳の挑戦」事業	(5,400)
新 高校生職業教育プログラム推進事業	(2,000)
・とやま科学オリンピックの開催 (第10回)	(9,500)
〔グローバル社会で活躍できる人材の育成〕	
・小学校専科教員配置事業	(60,995)
新 英語・グローバル教育充実事業	(2,000)
・高等学校生徒海外派遣事業	(17,621)
〔教員の資質向上、働き方改革の推進〕	
・幼児教育充実・強化事業	(4,500)
拡 「とやまで教員」応援事業	(8,400)
拡 スクール・サポート・スタッフ配置事業	(331,032)
拡 部活動指導員配置促進事業	(37,031)
拡 高校版スクール・サポート・スタッフ配置事業	(154,070)

3 子どもの健やかな成長を支え 元気を創造する教育の推進

〔豊かな心と健やかな体の育成〕	
・社会に学ぶ「14歳の挑戦」事業	(15,226)
・スクールカウンセラー配置事業	(184,738)
拡 スクールソーシャルワーカー活用事業	(26,219)
・いじめ総合対策事業 (24時間いじめ相談電話の設置等)	(14,484)
・スクールロイヤー活用事業	(1,446)
・「朝から元気とやまっ子」食育・健康教育推進事業	(888)
〔少人数教育と校種間連携の推進〕	
拡 少人数教育推進事業	(226,552)
・小学校専科教員配置事業 (再掲)	(60,995)
・教育課程研究指定校事業	(360)
〔特別支援教育の充実〕	
新 富山の特別支援教育将来構想策定事業	(1,200)
新 特別支援学校通学バス感染症対策事業	(72,788)
〔人権や思いやりの心を大切にする教育の推進〕	
・人権教育総合推進事業	(1,905)
・いのちの教育総合支援事業	(1,334)

4 社会の変化と多様なニーズに対応 した高校や大学等の教育環境の充実

〔県立学校の教育環境の整備・充実〕	
拡 高等学校建設事業	(2,627,243)
・学校修繕費	(925,199)
拡 科学技術教育設備の充実	(1,431,193)
新 特別支援学校建設事業	(4,900)
〔私立学校教育の振興〕	
・私立学校経常費補助金 (一般分)	(2,107,522)
拡 私立高等学校生徒奨学補助金	(122,028)
拡 私立高等学校キャリアプランニング推進事業	(5,080)
〔大学教育・学術研究の振興〕	
・大学コンソーシアム富山事業費等補助金	(7,867)
・とやま未来創生産学官連携推進会議開催事業	(759)

(令和3年度当初予算額：千円)

新 は令和3年度新規事業 **拡** は昨年度から拡充した事業

ふるさと富山に誇りと愛着を持ち、地域社会や全国、世界で活躍し、未来を切り拓く人材の育成

— 真の人間力を育む教育の推進 —

5 生涯を通じた学びの推進

〔多様な学習活動の支援〕

・人生100年時代 生きがいづくり事業 (2,800)

新 北信越高等学校PTA連合会富山大会開催費補助 (300)

〔県民の学習を支える基盤整備〕

新 とやま学遊ネットのリニューアル (44,379)

〔キャリアを磨く実践的な学びの推進〕

拡 県立大学ビジネスパーソン・スキルアップ支援事業 (5,400)

・リカレント教育等産学官連携推進事業 (3,045)

6 ふるさとを学び楽しむ環境づくり

〔学校におけるふるさと学習の推進〕

新 ふるさと教育教材デジタル化事業 (4,000)

・高校生郷土史・日本史学習教材活用事業 (3,384)

〔家庭、地域、企業等におけるふるさと学習の振興〕

新 とやま新時代講座 (2,450)

・「高志の国文学」情景作品コンクールの実施 (795)

〔高志の国文学館を拠点とするふるさと文学の振興〕

・第2回大伴家持文学賞・高志の国詩歌賞贈呈式の開催 (16,000)

・高志の国文学館企画展の開催 (38,017)

〔伝統文化の保存・継承〕

・国・県指定文化財保存修理事業への支援 (40,000)

拡 文化財建造物等活用推進事業 (20,939)

新 勝興寺国宝化推進事業 (1,000)

7 次世代を担う子どもの文化活動の推進

〔子どもの様々な文化活動の充実と文化交流の推進〕

拡 次世代育成音楽ふれあい事業 (21,000)

〔学校における文化活動の充実〕

新 輝くとやま未来文化リーダー育成事業 (700)

新 地域部活動（文化部）推進事業 (700)

〔文化施設を活用した若い世代の芸術文化活動の振興〕

・富山県美術館企画展の開催 (159,105)

・富山県美術館の教育普及活動 (18,411)

8 スポーツに親しむ環境づくりの推進

〔県民がスポーツに親しむ環境づくり〕

・「富山マラソン2021」の開催 (94,470)

・富山県スポーツフェスタの開催 (11,265)

・学校体育施設の開放 (5,245)

・東京2020オリンピック富山県聖火リレー開催事業 (105,500)

・パラリンピック聖火フェスティバル開催事業 (4,800)

新 富山県武道館整備事業 (204,600)

〔学校等における体育・スポーツの充実〕

新 地域部活動（運動部）推進事業 (7,596)

新 全国高校総体開催推進事業 (84,355)

〔全国や世界の檜舞台で活躍できる選手の育成〕

・国際競技力向上推進事業 (2,000)

・未来のアスリート発掘事業 (6,000)

・障害者スポーツの全国大会・国際大会出場に対する支援 (3,000)

〔スポーツを支える人材の育成と活用〕

・スポーツエキスパート活用推進事業 (12,934)

〔プロスポーツや企業と連携した地域の活用化〕

・プロスポーツチームが取り組む地域活性化事業への支援 (14,110)

9 教育を通じた「ふるさと富山」の創生

〔地域を支える人材の育成等〕

・土曜日の豊かな教育活動推進事業（再掲） (12,050)

・とやまの小・中学生ライフプラン教育充実事業 (1,046)

・とやまの高校生ライフプラン教育充実事業 (2,000)

新 高校生職業教育プログラム推進事業（再掲） (2,000)

□ : 地方創生局所管事業

□ : 経営管理部所管事業

□ : 生活環境文化部所管事業

□ : 厚生部所管事業

総合教育センター NOW

令和2年度 調査研究事業の報告 ◇◇詳しくは各学校に配付する研究紀要をご覧ください。◇◇

教育研修部 「主体的・対話的で深い学び」の実現に向けた授業改善に関する調査研究（1年次） －深い学びにつながる授業づくり－

「深い学びの姿」を、授業での具体的な子供の姿から捉えることから始めました。そして、「深い学びの姿」を導いた「教師の手立て」を「単元構想、問い、見方・考え方」の3つの視点から考察しました。その結果、既有知識をつなげる、学習を有意義化する、「見方・考え方」を働かせるなど「深い学び」につながるポイントが、そして、改めて「主体的・対話的で深い学び」の一体となった学びの大切さが見えてきました。

科学情報部 小学校における情報活用能力の育成に関する調査研究（1年次） －プログラミング教育を中心として－

令和2年度から小学校におけるプログラミング教育が全面実施となりました。GIGAスクール構想も進められ、子供たちの情報活用能力の育成が一層求められています。本調査研究では、プログラミング教育を中心とした情報活用能力の育成に向けた授業実践への一助となることを願い、「プログラミング的思考の捉え方」と「授業実践のポイント」について検討し、5年算数科の正多角形と6年理科の電気の利用における「授業パッケージ」を作成しました。

教育相談部 児童生徒の自己適応感を促す心理教育プログラムに関する調査研究（2年次） －あるがままの自分を感じる学習プログラムの開発－

児童生徒が周囲への適応を過剰に意識しすぎるあまり、本来の自分を見失いがちになっている状況があると考えました。特に、自分自身の感情に意識を向けにくくなっていると考え、自分の感情から自己理解を促す学習プログラムとして「セルフ・エモーション・アプローチ(SEA)」を開発しました。シナリオをもとに短時間で実施できるワークにまとめました。今後、学校支援訪問で学校現場に提供します。

教育研修部 「指標」を活用した研修を実施しています

平成30年3月に策定された「富山県公立学校の教員等の資質向上のための指標」は、教員がキャリアステージに応じた資質の向上を図る際の目安であり、教員一人一人が自らのキャリアステージを自覚し、学び続けることを目指しています。

教育研修部では、指標の内容を盛り込んだ事前・事後の自己評価や研修アンケートを実施することにより、受講者が、自己の変容や成長を意識できるように取り組んでいます。

指標に基づいた自己評価

基礎期（初任者研修）	中間・事後の評価
向上期（6年次教員研修）	事後の評価
充実・発展期（中堅教諭等資質向上研修）	事前（10年次）・事後（11年次）の評価

「令和2年度 中堅教諭等資質向上研修を実施する上での自己評価表(小・中・義・高・特 教諭用)」より一部抜粋

1 教職としての素養			
資質能力	指標	評価	総合評価
社会人として求められる基礎的な能力	・法令を遵守し、日常のサービスを誠実かつ公正に遂行できるように助言する。	A B C	A B C
	・円滑なコミュニケーションにより、互いに助け合い支え合う雰囲気醸成する。	A B C	
教育公務員の職責	・富山を愛し、教職への誇りと強い情熱、児童生徒への愛情をもっている。	A B C	
	・危機管理意識をもち、教育活動を実践している。	A B C	
	・教育公務員としての使命を自覚している。	A B C	
	・常に自己研鑽に努め、探究心をもって自主的に学び続ける。	A B C	

今年度は、新型コロナウイルス感染症拡大を防止するため、実施を予定していた研修を一部中止したり、代替研修で対応したりしました。今後も学校教育を取り巻く環境の変化が起こるかもしれませんが、その変化を前向きに受け止め、生涯を通じて学び続け、子供一人一人の学びを最大限に引き出し、主体的な学びを支援する教員の育成に努めていきたいと考えています。

1人1台端末に対応した研修会のご案内

令和2年度中にGIGAスクール構想による1人1台端末が小中学校に整備され、令和3年度には高等学校、特別支援学校にも端末が整備される予定となっています。当センターでは、これまでのICT活用関係の研修を見直し、1人1台端末に対応した研修を行います。

授業におけるICT活用研修会

(教師が活用することに主眼をおいた研修)

- **教材作成・提示コース**
教育用クラウドを利用した教材の作成・提示について研修
- **授業力向上のためのICT活用コース**
「ICTを活用した授業設計」をテーマに、授業案を検討・協議



1人1台端末を利用した研修会の様子

児童生徒の情報活用能力育成研修会

(児童生徒が活用することに主眼をおいた研修)

- **1人1台端末の活用コース**
1人1台端末を活用した事例等について検討し、授業案を作成・協議
- **小学校プログラミング教育 導入コース**
5年算数科「正多角形」と6年理科「電気の利用」におけるプログラミング教育について研修
- **小学校プログラミング教育 授業づくりコース**
小学校6年間を通したプログラミング教育について考え、実践例を持ち寄り協議

教育相談訪問研修（学校・サテライト）

教育相談部では、学校や市町教育センター等の要望に応じて、教育相談や生徒指導、特別支援教育等に関する研修を実施し、指導力の向上を図る「教育相談訪問研修」を実施しています。内容は以下の4つです。

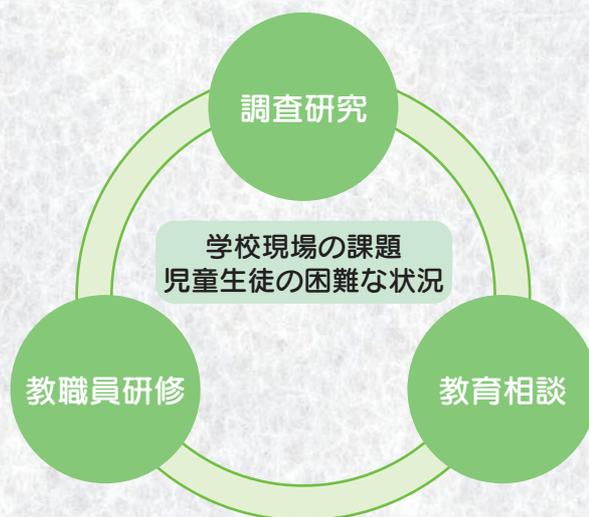
- 教育相談や生徒指導に関する研修
- 児童生徒の人間関係にはたらく発達促進的・開発的な育成プログラム研修
- 教師のためのメンタルヘルスに関する研修
- 発達障害等、特別支援教育に関する内容*1

教職員研修や調査研究、そして教育相談を通して、学校現場が抱える今日的な課題や児童生徒の状況を重ねながら、最新の知見を踏まえた育成プログラムの開発等、問題の解消のための支援につなげています。

令和3年度は、2年間の調査研究で開発した「セルフ・エモーション・アプローチ (SEA)」を育成プログラムとして追加します。この研修は、<いま、ここにある自分>が感じていることに意識を向け、自分の感情から自分をみていくワーク(取組)からなる心理教育プログラムです。

令和3年度教職員研修実施要領に研修会の案内を掲載しておりますので、教育相談部までお問い合わせください。

*1 市町教育センター、小中高教研等の各種団体のみ対象



教育相談部(子ども育成・特別支援)の取組

インフォメーション

場所 内容 対象 募集人数 応募要領
募集締切 参加料 ホームページ 問い合わせ

入館
無料

富山県埋蔵文化財センター

☎076-434-2814

企画展「見て、知って！とやまヒストリー2021」

期日 令和3年4月16日(金)～9月26日(日)

県内各地の遺跡から、貴重な出土品を時代順に紹介し、子供から大人まで楽しく観覧しながら、考古学を基礎から学べます。展示を見ながら、楽しく歴史を学びましょう。社会科の学習にもご活用ください。

金曜日、7月26日(月) ただし4月16日(金)、7月23日(金)は開館



展示を利用した学習

自遊塾
塾生募集

富山県民生涯学習カレッジ

☎076-441-8401

県民カレッジ自遊塾 令和3年度塾生(受講生)募集

期日 令和3年2月26日(金)～令和3年4月9日(金) 必着

ボランティア講師(県民教授)が企画した、ユニークで魅力的な講座からなる自遊塾の塾生(受講生)を募集します。

<https://www4.tkc.pref.toyama.jp/toyama/>

自遊塾
塾生募集

参加者
募集

放送大学富山学習センター

☎0766-56-9230

教員免許更新講習(令和3年度夏期)受講生募集

期切 4月中旬～5月中旬(予定) (インターネット申込のみ)

更新に必要な30時間全て放送大学で受講可能です(栄養教諭除く)。

受講期間 7月中旬～8月上旬(予定) 試験日 8月下旬(予定)



特別展「BONE 骨 ―貝塚で知る生命の証―」

埋蔵文化財センターでは、「BONE(骨)―貝塚で知る生命の証―」(会期: 令和2年10月2日～令和3年3月7日)を開催しました。

日本海側最大級の貝塚である小竹貝塚に埋葬されていた約6,000年前の人やイヌの骨からわかった、縄文時代の暮らしや習慣、病気のほか、ゲノム解析や食性分析など最近の科学分析を展示しました。

今秋は来館学習が多く、12月までに富山市・射水市・滑川市の小学校11校、PTA親子活動、地域グループの皆さんに来館いただきました。身長を比較するパネルや縄文人の座り方など、体験して学ぶコーナーが好評でした。



はつらつ公民館学び支援事業 ～ふるさとに学ぶ！～

県では、将来を担う子供たちの健やかな成長を願い、平成20年度から公民館を拠点として、子供たちのふるさとの学びや身近な自然体験活動に取り組んでいます。昨年度から、これらの活動を「体験交流型」とし、公民館を拠点に、地域課題の解決に向けた「学び」のモデル的な活動を行う「地域振興型」を加え、事業を展開しています。「体験交流型」では、「稲作体験」「林業体験」「三世交流の集い」等の様々な体験活動や学習を通して、子供たちのふるさとへの愛着を育てています。また、「地域振興型」では、「地域の安全・安心」「地域の防災力強化」「地域の自然環境や伝統文化の素晴らしさを再発見・発信」等の地域課題の解決に取り組むことで、地域を知り地域への愛着を深めると同時に、住民の学びに対する意識の高まりや新たな絆づくりにつながっています。



【体験交流型：稲刈り・はさがけ体験】
富山市立音川公民館



【地域振興型：避難所運営ゲームHUGの実施訓練】
魚津市立大町公民館

学校におじゃまして取材し、みなさんに各校の取組の様子をお届けします。

学校レポート

<school motto> Do “The nearest duty” 今、このときに全力を尽くす Spirits of Nambara

小杉高等学校 Kosugi Senior High School

小杉高等学校は、令和元年、創校100周年を迎えた伝統と歴史のある学校です。後に東京帝国大学総長となり戦後日本の復興や、6・3・3・4制等の戦後民主教育制度の確立に尽力された南原繁氏（当時射水郡長）の提唱により、大正8年に「射水郡立農業公民学校」として開校しました。その後、幾多の変遷を経て、平成7年度に、普通科・農業科併設校から本県初の総合学科単独校に改編され、現在に至っています。

小杉高校の総合学科は、生徒が希望する進路に応じて、専門性を向上させられるよう教育課程を編成しています。1年次に基礎基本となる学習を行った上で、2年次に「探究（文系・英語重視型、理系分野）」「美術・スポーツ」「生活・ビジネス」の3系列6分野から選択した系列学習を行います。

探究系列文系英語重視型では、平成30年度、SDGsについて学習し、サステナブル・ラベル（持続可能な原材料調達や環境・社会的配慮につながる国際認証ラベル）認証商品の啓蒙活動を行いました。令和元年度は、カリフォルニア大学の学生との Web での交流をきっかけに、射水市周辺で増加する外国にルーツを持つ子どもの日本語習得を支援する活動を行いました。今年度は、新型コロナウイルスによる社会の変化について同大学の学生と意見交換しながらSDGsの観点から自分たちができる取組みを考察しています。

美術・スポーツ系列美術分野では、造形表現の授業で学んで制作した鏝絵作品（左官作業で使う鏝を使って壁塗り・漆喰の盛り上げ、着色までの壁画作成）を校内や県人会館、竹内源造記念館に展示したり、地元のホテルの食堂に飾る鏝絵壁画を生徒と教員で共同制作したりするなど、地域の素晴らしい伝統工芸を紹介しています。

生活・ビジネス系列家庭分野では、福祉レクリエーション・ワーカーから福祉や保育の場で活かせる折り紙やリズム遊びを学び、折り紙細工を近隣の介護福祉施設へ贈呈するなど、地域との交流を大切に活動を行っています。

小杉高校では、1年次の科目「産業社会と人間」をキャリアデザイン、2・3年次の「総合的な探究の時間」をプロジェクトⅠ・Ⅱと位置づけ、3年間を見通したキャリア教育を行っています。また、富山大学や富山ガラス工房などでの学校外の学修を高校の単位として認定する仕組みを導入し、生徒の学ぶ意欲を育みながら、生徒が希望する多様な進路実現を支援しています。

部活動も活発であり、柔道部、ハンドボール部、吹奏楽部、美術部、文芸・新聞部などが県内外で活躍しています。なかでも柔道部は、リオデジャネイロオリンピックゴールドメダリストの田知本選手をはじめ、たくさんの全国大会や国際大会の優勝者を輩出するなど、輝かしい実績を有しています。また、放送部もかつて全国コンクールで最優秀賞を獲得しています。



全国強豪柔道部の様子



カリフォルニア大学の学生との交流



鏝絵共同制作



福祉レクリエーション講習会



女子ハンドボール部高校総体の様子

訪問日は、毎年実施している公開授業研究会当日で、主体的・対話的で深い学びを引き出す授業が行われていました。校舎には、所々に生徒や卒業生が制作した絵画が飾られ、学校全体が温かな雰囲気になっていました。熱意あふれる先生方と、真剣なまなざしで学ぶ生徒たちの姿がとても印象的で、スクールモットーの「Do “The nearest duty” 今、このときに全力を尽くす」が脈々と受け継がれていることが感じられました。小杉高校が、今後も地域に愛されるとともに、グローバル社会に貢献する人材を育む学校としてさらに輝いていくことを期待しています。

令和2年度とやま高校生ものづくりマイスター認定式



認定を受けた生徒の皆さん



式辞の様子



受賞の様子



代表生徒による謝辞

第5回となる、とやま高校生ものづくりマイスター認定式が2月25日（木）に実施され、30名の生徒に認定証が授与されました。この制度は、県内の高校生（工業科）を対象に、「ものづくりコンテスト」「ロボット競技大会」などの全国大会等において特に優秀な成績を収めた生徒や、高度な資格を取得した生徒をマイスターとして認定することにより、生徒の意識・意欲を喚起し、専門性の向上を図り、ものづくり人材の育成に結び付けようとするものです。認定の後、代表生徒の砺波工業高校3年大和真也さんが「ものづくりをとおして、地域社会に貢献できるよう努力したい」と今後の抱負を含めた謝辞を述べました。

リレー エッセイ

多様な文化を生きる

富山県高等学校長協会長・富山県立富山中部高等学校長 本江 孝一

学校に図書館があるのはほんとにいいですね。

教員になってよかったと思ったことは、いろんな専門の先生がいて、いろんな話ができること。そして、図書館があるということ。今年度、学校に勤務になって最初に借りた本が、『四川料理を日本に広めた男 陳建民』、『倫理21』、その後『世界は贈与でできている』など。生徒の課題研究に刺激を受けて整数論の本を紐解いたり、積読だった本も何冊か手にしたりできました。これは、生徒と教員がともに学ぶ学校というところの刺激のなせる技だと改めて感じています。

さて、陳建民は、日本人が食べられないほど大辛の四川の麻婆豆腐を日本人の口に合うようにアレンジしました。さきの本で平松洋子さんが書いた解説を紹介します。『私の料理、少し嘘在りますね。でも、それいい嘘です。ニセモノとは違います』日本における自分の料理を語った言葉ですが、じつは、異文化にたいする建民の考え方をわかりやすく表現していると思います。ひとはそれぞれ生まれ育った文化を持っている。しかし、それを「正しいもの」として主張するだけでは、なにも始まらない。自身のアイデンティティに誇りを持ちながら、相手の文化を尊重し、懸命に接点を見出して共存しようと努力する。そうすれば自分も相手も、おのずと大事にすることにつながる。」とあって、多文化理解の本質をととも分かりよく表現されていて感心し、また、本文では、多文化共生を地で行く陳建民の生きる力強さに元気をもらいました。



■執筆者プロフィール

上市町出身
富山東高校教諭、中央農業高校教諭、
富山中部高校教諭、雄峰高校教頭、
富山県教育委員会 教育参事・県立学校課長を経て
令和2年4月から現職